

# 令和2年度県立高等学校入学者選抜学力検査 社 会

## ■ねらい、出題の内容

### 1 地理的分野の問題

【ねらい】地図、グラフ、表などの資料から有用な情報を適切に選択して活用する技能や、思考・判断・表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1) ヨーロッパ州、アフリカ州、アジア州の分布などから地中海の位置と名称について基礎的知識・理解を問う問題です。(2) 赤道が通る地域や緯度、海流などに関する基礎的知識・理解をもとに、四つの都市の気候の特色について思考・判断する問題です。(3) ヨーロッパの統合にみられるEUの共通通貨名について基礎的知識・理解を問う問題と、EU加盟国の拡大にともなう資本主義国と旧社会主義国との間の経済格差の問題などについて資料を読み取り、その特徴を思考・判断して表現する問題です。(4) ヨーロッパの統合にならって発足したアフリカの地域機構について基礎的知識・理解を問う問題です。(5) 北アフリカから西アジアにかけての多くの人々が信仰している宗教の分布について、地図を活用しながら思考・判断する問題です。(6) 輸出総額や輸出品目、輸出相手などに関する資料をもとに思考・判断する問題と、トルコの位置と国名について基礎的知識・理解を問う問題です。

### 2 地理的分野の問題

【ねらい】東北地方を題材として、基礎的知識や理解の定着をみるとともに、資料から読み取った情報を根拠として、思考・判断・表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1) 東北地方を通る緯線と気候について表した地図を読み取り、東北地方の特徴について思考・判断する問題です。(2) 全国に占める東北地方の人口と面積の特徴について資料を読み取り、思考・判断する問題です。(3) 地形図の3地点の標高を等高線や標高点などを基に読み取り並べかえる問題と、地図中にみられる工業団地の立地について地形図から情報を読み取り、思考・判断して、表現する問題です。(4) 東北地方の県別の農産物の栽培面積に占める割合を主題図として表現することを通して、その農産物の名称について思考・判断する問題です。

### 3 歴史的分野の問題

【ねらい】日本の文化をテーマとして、その文化の形成や変化に関するできごとなどに関する基礎的知識や理解の定着をみるとともに、日本の文化について政治や外交などの時代背景とを関連させながら思考・判断する力をみる問題です。

【出題の内容】(1) 役人の心構えを定めた十七条の憲法について基礎的知識・理解を問う問題です。(2) 万葉仮名で書かれた防人の歌の資料を活用しながら、万葉集と防人について基礎的知識・理解を問う問題です。(3) 浄土信仰がさかんなところにつくられた建物について、当時の時代背景などから思考・判断する問題です。(4) 日明貿易のしくみについて基礎的知識・理解を問う問題です。(5) 島原・天草一揆の特徴についての基礎的知識・理解をもとに、その後の幕府の政策がどのように変化したのかということについて思考・判断する問題です。(6) 鎖国から開国までの時代の流れについて、幕府の対応や文化に関連するできごとについて思考・判断し、並べかえる問題です。(7) 開国後にアメリカと結ばれた条約の名称と、日本人の生活が欧米風に変化し始めた時期の文明開化の様子を示した資料について思考・判断する問題です。

### 4 歴史的分野の問題

【ねらい】日本の政治や経済を中心に、日本と世界の国々とを関連させながら、近代から現代までの日本の歴史について概観し、多面的・多角的に考察したことを適切に表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1) 八幡製鉄所に関する基礎的知識・理解を問う問題。また、明治時代の近代的な国家をつくるためのしくみを整えていく過程について思考・判断し、並べかえる問題です。(2) 大正デモクラシーの風潮があった時期に部落解放を目指すために結成された団体について基礎的知識・理解を問う問題と、男子普通選挙権の拡大に関する選挙権資格の変化について思考・判断し、表現する問題です。(3) 世界恐慌のころの工業生産指数を基に、各国でとられた経済政策について思考・判断する問題と、世界恐慌後に経済や外交問題で政党政治が行き詰まっていたことで生じた五・一五事件について資料をもとに思考・判断する問題です。(4) 高度経済成長期における日本の外交に関して思考・判断する問題です。

### 5 公民的分野の問題

【ねらい】経済活動と政府の役割というテーマで、家計、企業、政府が行う経済活動に関する基礎的知識や理解の定着をみるとともに、金融政策や財制政策などの経済のしくみについて、思考・判断する力をみる問題です。

【出題の内容】(1) 経済主体の一つである家計について基礎的知識・理解を問う問題です。(2) 日本の製造業における大企業と中小企業の事業所数、従業者数、製造品出荷額の構成比について、資料から思考・判断する問題と、株式会社や株主に関する基礎的知識・理解を問う問題です。(3) 景気の状態に応じて、どのような金融政策と財政政策が行われるかということについて思考・判断する問題です。(4) 消費税の特徴に関する基礎的知識・理解を問う問題です。(5) 政府の役割のうち、環境を保全するために制定した法律の名称について基礎的知識・理解を問う問題です。

## 6 公民的分野の問題

【ねらい】基本的人権の尊重、物事を公正に決めることの大切さ、合意形成や社会参画など、民主主義のあり方に関する基礎的知識・理解を基に資料を適切に活用して、思考・判断し、表現する力をみる問題です。

【出題の内容】(1) フランス人権宣言について基礎的知識・理解を問う問題です。(2) 資料を活用しながら、条例に基づいて行われた住民参加の方法について基礎的知識・理解を問う問題です。(3) 議決の流れや衆議院の優越などと関連させながら、国会の議決について思考・判断する問題です。(4) 国際連合の安全保障理事会の議決のしくみについて、常任理事国がもつ拒否権と関連させながら、資料を活用して思考・判断し、表現する問題です。(5) 衆議院議員選挙で合同選挙区が設定された理由について、平等権や一票の価値の平等（一票の格差）と関連させながら、資料を活用して思考・判断し、表現する問題です。

## ■今後の学習指導のために

各大問とも、設定された課題やテーマを軸に、基礎的な知識・理解に基づいて、様々な資料を活用しながら思考・判断したことを、表現する力をみることをねらいとしています。

社会科は暗記科目と思われがちですが、あるできごとが起きた原因を時代的な背景から考察したり、ある社会的事象を自分の立場からだけでなく相手の立場から考えたりする力を養う科目です。日ごろの授業の中で身に付けた知識をもとに、対話的な学びをはじめとする様々な活動を通して、社会的事象に対する論理的な思考力や多面的・多角的な視点を養うことができるようにしていくことが大切です。

## ■まとめ

社会科の学習指導では、身に付けた知識・理解を、社会的事象に対する課題の解決に向けて活用したり、応用したりする力を育むことが求められています。このことを受け、今年度も全分野において、資料を活用し、思考・判断・表現することを求める問題をこれまで同様に設定しました。地理的分野では、特に資料の活用能力を重視し、地図・グラフ・表より情報を選択して、世界や日本の地域的な特徴などについて思考・判断・表現させており、歴史的分野では、基礎的知識・理解をもとに時代の流れを重視しながら、資料を用いて歴史を概観させました。また、公民的分野では、家計・企業・政府が行う経済活動や合意形成・社会参画といった民主主義のあり方など、現実の社会的事象を通して、思考・判断し、表現させる設問を取り入れました。

## ■正解（次頁）

## ■正答率・部分正答率（％）

社会	番号	大 小	1							2							
			(1)	(2)	(3)		(4)	(5)	(6)		(1)		(2)	(3)		(4)	
					①	②			符号	国名	①	②		①	②	①	②
			70.2	68.4	96.6	28.0	37.7	66.8	36.4	13.4	46.1	30.1	48.1	45.4	61.7	88.6	89.9
			部分正答率			30.4											

3							4								
(1)	(2)		(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)		(3)		(4)		
	①	②					①	②	①	②	①	②			
73.9	68.1	66.7	89.5	65.5	53.5	26.2	58.1	73.3	74.7	33.0	62.2	17.1	65.2	77.5	32.2
												11.1			

5							6						
(1)	(2)		(3)		(4)	(5)	(1)	(2)	(3)		(4)	(5)	
	①	②							①	②			
		D	E	F	I								
68.6	56.2	82.8	75.8	47.3	56.8	40.9	55.2	79.5	39.1	70.0	35.1	53.9	32.9
												8.5	9.3